

# 大阪公立大学共催講座のご案内

Kintetsu 近鉄文化サロン

2026年度前期(6月～9月)

6/13  
(土)

## 10:30～12:00 模造された古文書

本講座では、仁寿3年(853)11月28日の日付をもつ「大和国宇陀郡佐山郷長解」という土地の売買に関する古文書をとりあげます。ただしこの文書は、9世紀のものとしては疑問が残る古文書です。どうしてそう考えられるのか、なぜこうした文書が存在しているのか。通常とは少し異なった視点から古文書を読み解いてみたいと思います。

【講師】大阪公立大学大学院 文学研究科 教授 磐下 徹

7/11  
(土)

## 10:30～12:00 版元・蔦屋重三郎の仕事

昨年大河ドラマの主人公・蔦屋重三郎。ドラマでも描かれていたように、「蔦重」は江戸出版界の風雲児でした。今回は、蔦重の仕事を、彼がプロデュースした2人の著名な浮世絵師、喜多川歌麿と東洲斎写楽の画業を中心にお話します。

【講師】大阪公立大学大学院 文学研究科 教授 菅原 真弓

8/8  
(土)

## 10:30～12:00 古代難波の都市性の発現

大阪の都市としての発展の出発は5世紀前半にさかのぼる。難波の堀江の開削とともに難波津の整備がなされ、住吉津に加えて上町台地先端の淀川河口部が国家的港津となる。以後、淀川両岸に難波津にかかわる諸施設ができ、のちの難波宮の地にかけて、管理にかかわる建物や外国使節を饗応する施設などが整えられ、都市的発展を遂げる。かなりの人口がいたことは、さまざまな必要物品の製作工房があることから推測され、6世紀以降は都市といえるのではないかと推測される。難波は日本最古の都市であることをお話します。

【講師】大阪公立大学大学院 文学研究科 教授 岸本 直文

9/12  
(土)

## 10:30～12:00 近世大坂における川浚・水道浚

大坂では近世初期にたくさんの堀川が掘りぬかれ、巨大都市として発展していきました。人々の生活や往来、物流などを支えていた都市内の水路は、どのように維持・管理されていたのでしょうか。最新の研究状況や関連史料を踏まえつつ、近世大坂における川浚・水道浚の特徴について紹介します。

【講師】大阪公立大学大学院 文学研究科 准教授 齊藤 紘子

【場所】近鉄文化サロン阿倍野

【受講料】各回 2,530円

WEBでご予約から入金までできるようになりました。〈お申込みはQRコードから〉



お問合せは【近鉄文化サロン阿倍野】(06)6625-1771

〒545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋2-1-40 and4階 【受付時間】10:00～18:30 (日曜日10:00～16:00)  
※休業日:4/29(水・祝)～5/5(火・祝)、7/29(水)、8/11(火・祝)～8/15(土)、8/30(日)、8/31(月)は、受付業務を休ませていただきます。

### 【受講お申込みは】

- 事前にご予約のうえ、実施日の5日前までにご入会手続きをお済ませください。
- 各講座とも満員になり次第締め切らせていただきます。※ただし、一定の人数に満たない場合は、講座を中止させていただく場合がございます。
- お支払いには、コンビニ振込みがご利用いただけます。(振込手数料別途)詳しくは、お申込み時にご確認ください。



※価格は、消費税を含んだ税込み金額を表示しています。  
※各講座とも、開催場所は近鉄文化サロン阿部野です。